

チャイルド・ファンド・ジャパンだより

[スマイルズ] 2011年2月NO.22

# SMILES

<http://www.childfund.or.jp>



シリーズ“食べる”

11

## みんな大好きバナナキュー!

フィリピンの代表的なお菓子、バナナキュー。

バナナを揚げて砂糖をまぶしたシンプルなものですが、大人も子どももみんな大好き!

砂糖が溶けてカラメルになったところを食べると絶品です。

露店では1本10ペソ(約20円)くらいで、串刺しにして売られています。

写真:センター27(イサベラ州サンチャゴ市)

**ChildFund**  
Japan

チャイルド・ファンド・ジャパンは、1975年より、アジアを中心に貧困の中で暮らす子どもの健やかな成長、家族と地域の自立を目指した活動をしています。



読書を通して  
「世界」を拓ける



# 読書を通して 「世界」を拓げる

子どものころのお気に入りの本を覚えていますか？  
何度も何度も繰り返し読んだ本はありますか？  
残念ながらフィリピンの多くの公立小学校には  
図書室がなく、子どもたちが本に触れる機会は  
あまり多くありません。また、たとえ図書室があった  
としても、子どもたちの夢や知的好奇心を育むことの  
できるような本は備えられていません。

チャイルド・ファンド・ジャパンは、プロジェクト  
サポーターの皆様からのご協力もいただき、2010年度  
から3年計画で、「子どもが読書に親しむプロジェクト」  
を開始しました。その初年度の様子を、フィリピン  
オーロラ州サンルイスで活動するセンター44の事例  
からご報告します。

(事務局長 小林 毅)

## フィリピン

【センター44】

2001年からマニラの北東約  
140kmのオーロラ州サンルイス  
で活動しています。サンルイス町  
は18の村から構成され、人口  
は約2万人です。センターは5つ  
の村で子どもの成長、家族の  
生活改善、住民主体の組織作り  
の事業を実施しています。

44

マニラ



↑オーロラ州サンルイスの風景



↑アイバン。「ピロング パタゴ・タゴ」と一緒に

大好きなアイバンですが、本を読むようになってからは、担任の先生も  
驚くほど「腕をあげた」そうです。2010年9月、アイバンは学校を代表  
して州の「世界狂犬病デーのポスターコンテスト」に参加しました。本に  
親しむことはアイバンに新しい知識を与えるだけでなく、想像性や独創性  
を高めたといっても過言ではありません。

\* 家の中や買い物の途中、突然隠れて人を驚かすことが大好きなピロ少年。ある日、  
ピロ君と出かけたお母さんが隠れてしまい、ピロ君はパニックに陥ってしまいます。  
他人の心を思いやることの大切さを教える本です。

## 想像力を膨らます

「本を読むようになってから、絵を描くとき、はっきりイメージが頭に浮かぶ  
ようになったんだ」と、アイバンは言います。アイバンはデイトゥマボ小学校の  
4年生で、この小学校は「子どもが読書に親しむプロジェクト」の参加校の  
ひとつです。プロジェクトで実施される教員向け研修を終えた4年生担任の  
先生から読書の楽しさを教えてもらったアイバンは、本の虜になり、ひと月  
ほどでプロジェクトが学校に提供した60冊の本を読み終えました。中でも、  
「ピロング パタゴ・タゴ=ピロ君  
かくれんぼ」\*は何回読んだかわか  
りません。以前から絵を描くことが



↑通学するアイバン。手提げカバンにも  
描きかけの絵が入っています。



## スポンサーシップ・プログラムの支援センターと協働して

「子どもが読書に親しむプロジェクト」は、読書習慣を身につけるのに適した年齢と言われる小学校4年生を対象としています。語学力がつくこの頃が、文章の理解力が高まり、また表現力が身につく頃だからです。また、たくさん子どもたちが参加できることや持続性を考えて、このプロジェクトはスポンサーシップ・プログラムで協働する支援センターと一緒に実施されています。

具体的に、支援センターは、チャイルドたちが通学する公立小学校の中から、校長先生が小学校4年生の担任と共にプロジェクトが提供する研修に参加すること、校長先生は参加した教員が他の教員と研修の成果を分かち合うことができるように責任を負うことなどを条件に、参加校を推薦します。

↓センター長のエシーさん



センター44のセンター長、エシーさんは、生徒数が多く、アイバンを含めて50名近くのチャイルドたちが通学しているデイトゥマボ小学校を推薦しようと、マリリン校長代理に参加を相談しました。打診を受けたマリリン校長代理は、「生徒たちにとって“またとない機会”となる」と確信して、迷わず参加を表明しました。

↓デイトゥマボ小学校。  
約750人の生徒が学んでいます。

2010年8月にマニラで行われた教員向け研修には、支援センターのスタッフと共に、4年生を担当するテタ先生とマリリン校長代理も参加しました。研修では、生徒に読書を強制するのではなく、本のすばらしさに触れることができるよう、読み聞かせの方法、本の内容を絵に描く実習、劇に仕立てる方法などを学びました。



## 31日間にわたる「読書マラソン」に挑戦

デイトゥマボ小学校の4年生は、9月1日から10月中旬まで、土日を除く31日間、「読書マラソン」に挑戦しました。この期間、150人の4年生は、朝8時から1時間、担任教師と共に読書に親しむ活動をしました。その後、生徒たちは、

↓読書マラソンで完成した「アダルナの鳥」  
アダルナの鳥はフィリピンで広く知られている民話、「イボン・アダルナ(アダルナの鳥)」に登場します。不治の病にかかった王様を助けるため、アダルナという魔法の鳥を三人の王子が、探しに行きます。試練をうまく乗り越えた末っ子の王子がアダルナを見つけるという物語。

自分の名前、本のタイトル、作者を書き込んだ紙片を羽根として「アダルナの鳥」に貼り付けていきます。31日後には、壁に貼られた「アダルナの鳥」はたくさんさんの羽根でいっぱいになりました。

アイバンだけでなく、ほとんどの生徒たちが60冊を読破しました。60冊を読破したチャイルドの一人、おとなしい性格のマルケンビーは、「友だちとの関係を大切にすることを学んだ」と話してくれました。

「読書マラソン」を通して、生徒たちは学習意欲を高めていったと先生たちは言います。また、「生徒たちが積極的になると共に、今まで以上に子どもたちが学校を楽しみにするようになり、欠席が少なくなった」とマリリン校長代理は感想を述べています。



before



after



## 本って楽しい!

2010年12月、チャイルド・ファンド・ジャパンは、このプロジェクトに参加している小学校に科学の絵本や百科事典などを追加提供しました。読書の楽しみを体験したデイトゥマボ小学校の4年生たちは、目を輝かせながら、早速、新たに寄贈された本を開きました。

この小学校に限らず全ての参加小学校では、来年度も、新4年生に「読書マラソン」を行うと共に、読書に親しむ活動を全ての学年で実施していこうとしています。読書を通して、多様な考え方を知り、知性や感性を高め、豊かな想像力や表現力を養えるように…。今後もっとたくさんの「アイバン」に会える予感がしました。



↑追加提供された飛び出す絵本を食い入るように見る生徒たち

### 取材後記

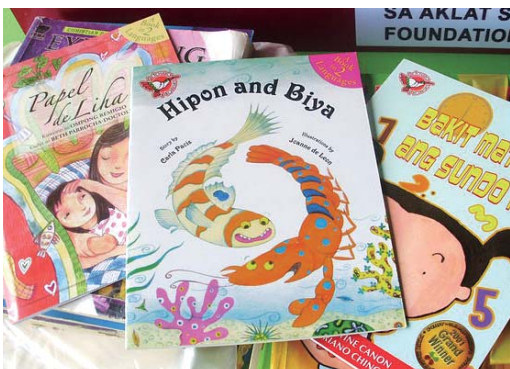
私と読書の出会いは小学校の図書室でみつけた「ジャングルブック」でした。チャイルドたちの話を聞きながら、何篇かのシリーズものをむさぼるように読んだことを思い出しました。子どもたちは、読書を通して、知識を拡げ、学力を高めると共に、理解力や表現力を身につけ、独創性や想像性を持つことができます。「ジャングルブック」を思い出しながら私は、「子どもが読書に親しむプロジェクト」が、さらに子どもたちの夢と可能性を拡げることを願いながら、サンルイスを後にしました。

(事務局長 小林 毅)



↑デイトゥマボ小学校のマリン校長代理(右から3番目)、テタ先生(左端)他、小学校4年生の担任教師の皆さんと小林(左から2番目)

## 書き損じハガキ3枚が本1冊に変わります!



↑子どもたちに届ける本。クラスごとに60冊送ります。

もっとたくさんのアイバンに会えるように…

このプロジェクトは、来年度も他のセンターと協働して実施します。より多くの子どもたちに本を届けるため、現在、書き損じハガキを募集しています。

書き損じてしまったハガキや余ってしまった年賀状はありませんか?チャイルドたちの世界が拡がるきっかけとなる本1冊を書き損じハガキ3枚で贈ることができます。書き損じハガキを事務所まで送ってください!



送り先 〒167-0041 杉並区善福寺2-17-5 チャイルド・ファンド・ジャパン 書き損じハガキ 係



# スリランカから vol.8 アーユボーワン



## チャイルドのお手伝いTop3 in プッターラム・エリア

アーユボーワン:シンハラ語で「こんにちは」

チャイルドたちにとって家庭でのお手伝いは切っても切り離せない生活の一部です。スリランカの支援地域のひとつプッターラム・エリアで暮らすチャイルドたちのお手伝いTop3をご紹介します！

### 1位 農作業のお手伝い

一番多かったのは農作業のお手伝いでした。この地域では、乾季に溜池を利用した農業を行っています。農業といっても、耕作機械を使用するわけではなく、種まきから収穫までをほとんど手作業で行います。チャイルドは種まき、苗木植え、水やり、雑草取り、害虫取り（時には鳥たちも追い払います）、収穫（お米、トウモロコシ、さやいんげんなど）を手伝います。



トウモロコシの収穫、いくつ持てるかな？

### 2位 水汲み

水不足が深刻なこの地域は、水道が一部の地域にしかありません。また地下水には鉱物が多く含まれているため、飲料に適した井戸も限られます。そのため、人びとは1日に2～3回、遠いところでは数キロ離れた場所へ水を汲みに行きます。この水汲みがチャイルドたちの重要な仕事です。重くて大変ですが、汲んだ水は肩で担いだり、自転車やカートに乗せて運びます。



水汲みをするチャイルドたち

### 3位 お弁当やお茶運び・干し魚作り

海岸沿いの地域では漁業が主な収入源です。チャイルドは、漁から戻ってきたお父さんのお弁当やお茶を家から浜辺まで運びます。お父さんは、お弁当とお茶で一息ついた後、獲った魚を売りに行きます。売れ残った魚は、チャイルドたちが干魚にし、家族の食糧となります。



干物にする魚の仕分けをしています

皆さんもお手紙で、チャイルドがどんなお手伝いをしているか尋ねてみてはいかがでしょうか？

# ネパールから ナマステ! vol.4



## ダサイン祭りとティハール祭り

ナマステ:ネパール語で「こんにちは」

秋に届いたネパールのチャイルドからのお手紙のお返事に「ダサイン」や「ティハール」のことが書かれていませんか？今日はこのふたつのお祭りについてご紹介します。

ネパールの人口の8割をしめるヒンドゥー教徒の最大のお祭りが、秋のダサインとティハールです。ダサインは勝利の神「ドゥルガ」を祭るお祝いで、ネパール暦によりますが通常は10月に10日間続きます。出稼ぎに行っているチャイルドのお父さんやお兄さんもこの時期には家に帰り、家族揃ってお祝いをします。9日目に山羊や水牛を生贄として、「ドゥルガ神」にささげると共に、皆でその肉を食べます。10日目は「勝利の日」で、家族・親戚・知人などの年上の人からお祝いのティカ（赤い印）を額につけてもらいます。年に1度の大切な祭りなので、人びとは借金をしてでも、家族全員が新しい服を着てごちそうを食べます。そして、生命力を高め、豊かな収穫を祈ります。



ダサインの時に年長者からお祝いのティカをつけてもらう家族(ラメチャップ郡)

ダサインから約2週間後、富の女神「ラクシミ」を迎える、灯りのお祭り、ティハールです。普段は暗い街も、この

時は灯りに満ちあふれます。1日目はカラス、2日目は犬、3日目は牡牛にごちそうを食べさせ、花輪をかけて礼拝します。4日目と5日目は、家族の長寿と健康を祈り、5日目は女性が男兄弟にティカをします。これは女性の守護力を男性に与えるものとされています。ダサインが家族で楽しく過ごすお祭りであるならば、ティハールは子どもや若者が爆竹や踊りなどで楽しむお祭りともいえます。お祭りの後半の夜には、子どもたちが家々をめぐり踊りや歌を歌い、お菓子やご祝儀をもらったりする習慣があり、このために前々から練習する子どもたちもいるとか。お祝いにチャイルドたちの笑顔があふれます。



ティハール3日目の夜に行う、「ラクシミ神」を家に迎える用意をしている(カトマンズ)

現在、チャイルド・ファンド・ジャパンが支援しているプロジェクト

## 故細野雅央様からの ご寄付による教育支援プロジェクト



ネパール

- 【ネパール】
- ・子どもにやさしい学校環境整備プロジェクト
  - ・保健行政システムのキャパシティ・ビルディングによるネパールの女性と子どもの栄養改善計画フォローアップ・プロジェクト
  - ▶ 故細野雅央様からのご寄付による教育支援プロジェクト
  - ・オカルドンガ地域病院プロジェクト
- 【フィリピン】
- ・子どもが読書に親しむプロジェクト
  - ・バラワン少数民族生活改善プロジェクト

- 協力期間: 2008年9月1日～2011年8月31日
- 支援対象: ネパール東南部マホタリ郡およびダヌシャ郡の公立校5校  
(生徒総数約2,200名と学区に居住する5歳～14歳の未就学の子ども約500名)
- 協力団体: Aasaman Nepal※ ※ネパールの平野部、ダヌシャ郡を拠点とするNGO。子どもの権利推進を目標に、教育事業や児童労働撲滅を目指す活動を行う。

### ～子どもたちが安心して学校に通い続ける地域を目指して～ 第2四半期報告より

2010年の5月までに、対象5校の計22教室、トイレ、手押しポンプ、教室設備の全ての建設・修復が完成し、より多くの子どもたちが学校通うことができるようになりました。しかし、カースト(社会階級)による差別や女性軽視といった社会的文化的な壁や、授業内容に難しさを感じたり、家族の理解を得られずに学校に通えなくなる子どもたちが直面している問題は、物理的な環境整備だけではなかなか解決できません。そこで今年度は、学校運営能力の強化、社会経済的に就学が困難な子どもたちの就学支援の強化、就学前教育・補習教室の充実など、学校・地域ぐるみで、子どもたちが継続的に学校に通う気運を盛り上げ、定着させる活動を進めています。また、先生が説明して生徒が聞くという従来の受け身型の授業法ではなく、ゲームなども取り入れた参加型の教授法など、子どもにやさしい学習方法の教員

研修も行いました。研修で学んだことを実践する先生や、クイズやスピーチを授業に取り入れる学校も出てきています。細野さんは、生前、十分な教育を受けることができない子どもたちの存在に心を痛め、「明るい未来のため、子どもたちの教育の向上を切に願います」と、そのご遺志をチャイルド・ファンド・ジャパンに託されました。フィリピン、カンボジアに続き、ここネパールでも新しい教室で学習に励む子どもたちが増えています。



支援によって建設された新しい校舎



真新しい校舎の教室で笑顔の子どもたち



つながり・ぶろじゅくと  
**TSUNAGARI**  
PROJECT

## ～5周年記念プロジェクト～

フィリピンの子どもたちを学校へ!

# ヴァイオリン・歌・ピアノとハンドベルによるチャリティコンサート

ヴァイオリンをはじめとする第1部とハンドベルの第2部で構成される珍しい組み合わせのコンサートです! 曲目は、お馴染みのポピュラーな曲から、フィリピンの曲、初演のオリジナル曲など、楽しい演奏でお子様にもお楽しみいただけます。コンサートをナビゲートしていただくのは、ラジオ、テレビで活躍されている、あの**ジョン・カピラ**さんです! 春の一日、音楽を聴きながらゆっくりとしたひとときをお過ごしになりませんか?

チケット  
好評販売中!

### 出演・演奏曲

#### 第1部

林原 澄音(ヴァイオリン)  
永原 陽子(ピアノ) 本田 由美子(歌)  
チャイルド・ファンド・ジャパンの庭で  
オリジナル曲初演 他

#### 第2部

アンダンテ ハンドベル  
(指揮 小澤 淳一)  
虹の彼方に 他

#### 日時

2011年3月13日 日曜日 午後3時30分(午後3時開場)

#### 場所

青山学院大学 ガウチャー記念礼拝堂  
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25青山キャンパス15号館  
東京メトロ表参道駅B1出口徒歩5分  
JR・東急・井の頭線渋谷駅宮益坂方面出口徒歩10分

#### チケット

1枚 2,000円 全席自由

#### チケット申込・問合せ

チャイルド・ファンド・ジャパン事務局

#### 電話

03-3399-8123

#### E-Mail

childfund@childfund.or.jp

ホームページ <http://www.childfund.or.jp/>  
からもお問い合わせができます。

主催:チャイルド・ファンド・ジャパン5周年記念チャリティコンサート実行委員会



\*ハロハロとはタガログ語(フィリピン語)で“いろいろ”“まぜこぜ”という意味です。  
このページは読者の皆様からのリクエストや投稿などをもとに作るページです。

# ハロハロのページ

「他のスポンサーの方と交流したい!」という声や、「どのような方が支援者にいるか知りたい」といった声をお寄せいただくことがあります。そこで、2010年度の「ハロハロのページ」は、ご支援くださる皆様をご紹介します。第4弾となる今号は、チャリティコンサートなどのイベントを開催し、その収益でスリランカのチャイルドをご支援くださる札幌の学生さんのグループ、サンティエをご紹介します。



サンティエのメンバーの皆さん



★札幌

**Q** サンティエとはどんな団体ですか?

**A** サンティエは、「みんなで楽しく気軽に国際協力」をモットーに、国際協力に関するイベントの企画・運営をする学生グループです。「サンティエ」はフランス語で「光輝く」という意味です。発展途上国の子どもたちにほんの少しでもきらめく笑顔をもたらすことのできる、そんな団体でありたいと願って名付けました。設立のきっかけは、メンバーの1人が、「世界から貧しさをなくす30の方法」\*を読み、自分でできることとして、2009年6月の北海道大学の「北大祭」でスリランカの紅茶農園の写真展を開催したことです。その活動を通してスリランカで支援活動をしているチャイルド・ファンド・ジャパンのことも知りました。

\*合同出版株式会社 2006

**Q** 年間を通してどんな活動をしていますか?

**A** 毎週1回、ミーティングを開催し、写真展、発展途上国に関する講演会や報告会、イベントなどを企画、運営をしています。フリーマーケットに出店したり、フェアトレードの品物を販売したりして、活動資金を捻出しています。

**Q** コン서트などの収益を通して、スリランカのチャイルドを支援くださっていますが、昨年12月のコンサートはいかがでしたか?

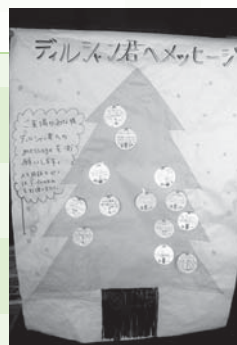
**A** コン서트当日の12月23日、札幌はあいにく大雪でしたが、それでも30名ほどいらしてくださいました。支援をしているスリランカのチャイルド、ディルシャン君を紹介するコーナーを設置し、ディルシャン君へのメッセージを寄せ書きしていただいたりして、参加した方々も国際協力に関心を向けてくれました。



コンサートの様子

**Q** 同世代の方々に向けたメッセージを聞かせてください。

**A** 国際協力は、難しいことではありません。普段飲む紅茶がどのように作られたのかと考えるいたり、国際協力のイベントに参加してみたり、身近なことで出来ることもたくさんあると思います。たくさんの方がすこしずつ力を出し合うことが大切だと思います。どんな小さなことでもいいので実践してみてください。



チャイルドへの寄せ書き



サンティエのチャイルドはSMILES21号で紹介したディルシャンくんです。

# インフォメーション コーナー

## お知らせ 冬募金キャンペーン、目標までもう一息です!

2010年12月より募金している、ネパールの「子どもにやさしい学校環境整備プロジェクト」へのご支援は1月25日現在、7,912,747円(1,002口)のご協力をいただきました。皆様の温かいご寄付に心より感謝申し上げます。目標の800万円までもう一息です。ご家族やお知り合いの方にどうぞご紹介ください。募金チラシをお送りいたします。**募金グループ ☎03-3399-8123**までご連絡ください。



一生懸命勉強する子どもたち

## ご報告 「クリスマス“もうひとつの贈りもの”イベントのご報告

2010年12月5日の午後、銀座教会東京福音会センターで「クリスマス“もうひとつの贈りもの”」と題して、トーク・イベントを行い、約30名の方々にご参加いただきました。映画「スマイルズ!」を制作して下さった鈴木浩監督が「映画を通してひとつでも多くの笑顔をつくりたい」という想いを、長くご支援して下さっているスポンサー武藤富子さんが「教育の大切さ」を実感されていることをお話ししました。会場には、遠方よりお越し下さった支援者の方もいらっしゃいました。ご参加下さった皆様、本当にありがとうございました。

## お知らせ 領収証の発送が完了しました

2010年にご送金いただきましたご寄付の領収証の発送が完了いたしました。スポンサーの皆様には、1年間にいただいたご寄付を合算してお届けしました。プロジェクト・サポーターの皆様には、ご寄付の度に領収証をお届けしております。なお、チャイルド・ファンド・ジャパンは、2009年4月1日に、国税庁長官より「認定NPO法人」として認定されました。お届けした領収証は、確定申告の際に寄付金控除の領収証としてご利用いただけます。ご不明な点がございましたら、**会計・庶務グループ ☎03-3399-8123**までご連絡ください。

## お知らせ 杉並区でキャンペーンを実施しています

チャイルド・ファンド・ジャパンの事務所がある杉並区で「杉並区民の手でネパールに学校を!」キャンペーンを実施しています。杉並区民の皆様から書き損じハガキを送っていただき、ネパールで学校建設を支援します。杉並区役所や商店街の方々にも呼びかけ、地域密着型の国際協力に貢献いただいています。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.childfund.or.jp/>

## ご報告 第6回チャリティゴルフ大会とフィリピン訪問のご報告

2010年12月1日、第6回スマイリング・パートナーズ・チャリティゴルフ大会が行われました。(代表:元読売巨人軍コーチ篠塚和典氏)この大会を通して、約220万円のチャリティが集まり、25名のフィリピンとネパールのチャイルドの支援を継続することができます。また、2011年1月7日から10日まで、篠塚和典さんとゴルフ大会を通じてスポンサーになって下さった方々総勢11名でチャイルドが生活している地域を訪問、チャイルドと共に野球を通して交流しました。



篠塚さん(後方右)と共に野球を楽しんだチャイルドたち

## お願い 1クリックが1円の募金になります!

クリック募金のクリック数が減ってきています。どうぞご自宅や職場のパソコンからクリックをお願いします。クリック募金はチャイルド・ファンド・ジャパンのホームページにあるバナーからアクセスしてクリックしてください。(クリックした方が寄付金の請求をうけることはありません。)



<http://www.childfund.or.jp/>

## ご報告 チャリティリサイタル開催のご報告

支援者の江田明子さんとご友人たちが主催する「クリスマスチャリティ リサイタル Vol.4」が、2010年12月25日に埼玉県川越市の氷川会館で開催され、来場した80名ほどの参加者が演奏を楽しみました。このチャリティリサイタルを通して2名のフィリピンのチャイルドをご支援いただいています。

## お知らせ スリランカ東部の大雨による洪水被害

スリランカで発生した大雨による東部の洪水被害が報じられています。チャイルド・ファンド・ジャパンの支援地域は中部・西部に位置しており、大雨の影響はありますが、これまでのところ洪水被害には到っていません。引き続き、状況を注視してまいります。

## お詫び SMILES21号の訂正

SMILES21号4ページの「支援プロジェクト情報②」で、ネパールルピーを誤って1円=1.2ルピーで換算してしまいました。正しくは1ルピー=約1.2円です。お詫びして訂正いたします。

Ch<sup>ild</sup>Fund  
Japan

### Vision Mission

チャイルド・ファンド・ジャパンはここに掲げるビジョン(目標)、ミッション(使命)に基づいて活動します。

### ビジョン(目標)

すべての子どもに開かれた未来を約束する国際社会の形成

### ミッション(使命)

生かし生かされる国際協力を通じて子どもの権利を守る

## チャイルド・ファンド・アライアンス

Ch<sup>ild</sup>Fund  
Alliance

人種、宗教、性別、国籍を問わず世界の子どもたちに、効果的な支援活動をするためのネットワークで、子どもたちに向けたスポンサーシップ・プログラムを行う12団体から構成されています。チャイルド・ファンド・ジャパンは2005年4月に加盟しました。

スマイリス  
＜チャイルド・ファンドより SMILES＞ 2011年 2月発行  
〒167-0041 東京都杉並区善福寺2-17-5  
特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン  
理事長 深町正信(青山学院名誉院長) 事務局長 小林毅  
TEL. 03-3399-8123 FAX. 03-3399-0730  
E-mail:childfund@childfund.or.jp  
URL:<http://www.childfund.or.jp/>

(デザイン)  
モスデザイン研究所  
<印刷>  
有限会社東西印刷

